

| | | | | | |
|----|--------------|----|----|----|-------|
| 所属 | 人間社会学部/心理コース | 職名 | 教授 | 氏名 | 福田 恭介 |
|----|--------------|----|----|----|-------|

1. 教員紹介・主な研究分野

現在、2つの研究に従事している。

1つは、目は口ほどにものを言うのかについて研究している。これまで、まばたきが目の保護・防衛のため反射的に生じているだけでなく、ヒトの情報処理過程と関連して生じ、瞳孔もまばたきと相互作用しながら動いていることを示してきた。また、視線が固定された瞬間にまばたきが生じやすく眼球運動とまばたきの関係も示してきた。最近では、発達の子くみと目の動きの関連、あるいは興味・関心と目の動きの関連についても検討している。

もう1つは、ペアレントトレーニングによる手法が親の子育て支援に役立つかを実践によって検討している。子どもの行動や親（保護者）の行動を記録することにより、親（保護者）の子どもの見る目が変わることによって親の行動が変わり、さらに子どもの行動が変わることによって親（保護者）としての自信を回復している。最近では、このような取り組みを保育現場や教育現場の担当者に対しても啓発活動を行っている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

著書

1. 福田恭介「情動の認知」『新・知性と感性の心理－認知心理学最前線－』行場次朗・箱田裕司（編著）第9章，152-166. 福村出版（2014）

論文

1. 金城志麻・森陽二郎・福田恭介・高山恵子・金城正典・針塚進・田中哲（2013）「発達障がい児・者とその保護者への支援」教育心理学年報 52, 215-217. 査読なし
2. 福田恭介（2013）「ペアレントトレーニングについて」福岡県立大学心理臨床研究 5, 77-88.
3. 中村恵美子・福田恭介（2013）「ペアレントトレーニングを保育・教育現場へ応用するためのボトムアップによる個別型・チーム型支援プログラム」福岡県立大学人間社会学部紀要 22 (1), 41-53.
4. Fukuda, K. (2014). An investigation into the relationship between spontaneous eye blinks and cognitive processing. *International Journal of Psychophysiology*, 94 (2), 162-163. 査読あり
5. 森久美子・福田恭介・松尾太加志・志堂寺和則・早見武人（2015）「感情語提示時における大学生の瞳孔反応と抑うつ・不安との関連」福岡県立大学人間社会学部紀要，23(2)，33-44. 査読あり
6. Nomiya, H., Fukuda, K., Matsuo, T., Shidoji, K., & Hayami, T. (2015). The difference of detection performance between intermittent and continuous presentation of facial expression change. *Joint international Symposium on "Regional Revitalization and Innovation for Social Contribution" and "e-Asia Functional Materials and Biomass Utilization"* p-29, 1-4. 査読あり
7. Korenaga, Y., Yoshioka, K., Nakafuji, H., Nakamura, E., Sakai, S., Shinaya, K., & Fukuda, K., (2015). Improvement of Teachers' Skill for Children's Behavioral Problem in Schools through a Cognitive-Behavioral Approach by Parent Training. *Joint international Symposium on "Regional Revitalization and Innovation for Social Contribution" and "e-Asia Functional Materials and Biomass Utilization"* p-30, 1-3. 査読あり

②その他最近の業績

学会発表

1. 福田恭介・森久美子・志堂寺和則・松尾太加志・早見武人「感情語による瞳孔反応と抑うつとの関連」第31回日本生理心理学会大会（福井大学）2013.05.18
2. 福田恭介・鶴田咲季・志堂寺和則・松尾太加志・早見武人「まばたきの数と速度が印象形成に及ぼす効果」第74回九州心理学会（琉球大学）2013.11.17
3. 寧宇宇・志堂寺和則・福田恭介・松尾太加志・早見武人「ビデオ視聴における興味・

- 面白味による瞬目抑制」第22回まばたき研究会2014.03.29（大宮ソニックシティ）
4. K. Fukuda, The relationship between spontaneous eye blinks & cognitive processing. Symposium “Recent Research Topics on Eye Blink Behavior” at the 17th World Congress of Psychophysiology. (Hiroshima, Japan) 2014.09.26
 5. 是永陽子・吉岡和子・中藤広美・福田恭介「ペアレントトレーニングが保育士・教師の特別支援教育スキルアップに及ぼす効果」九州心理学会第75回大会2014.11.15（宮崎県 宮崎公立大学）
 6. 福田恭介・松尾太加志・志堂寺和則・早見武人「瞬目時間分布に及ぼす刺激呈示確率の影響」第23回まばたき研究会 2015.3.29（静岡県 三保園ホテル）
 7. 福田恭介・上江洲成美・松尾太加志・志堂寺和則・早見武人「表情画像の呈示時間が瞬目発生に及ぼす効果」第33回日本生理心理学会大会 2015.5.23（グランフロント大阪）

シンポジウム

1. 第77回日本心理学会公募シンポジウム「こころの健康・臨床、健康支援、発達障がい者支援に役立つまばたき研究」（2013）9月20日（札幌コンベンションセンター）指定討論
2. 第78回日本心理学会シンポジウム「瞬目研究の新展開-画像処理によるデータ分析とドーパミンとの関連-」（2014）9月12日（同志社大学）指定討論

コラム

- 福田恭介「みいつけた！コラム1回目」福岡県保育協会通信（2013）第10号 p.10
福田恭介「みいつけた！コラム2回目」福岡県保育協会通信（2013）第11号 p.6
福田恭介「みいつけた！コラム3回目」福岡県保育協会通信（2013）第12号 p.7

③過去の主要業績

1. 田多英興・山田富美雄・福田恭介：「まばたきの心理学-瞬目行動の研究を総括する」289頁(1991) 北大路書房（京都）
2. K. Fukuda: Eye blinks: New indices of detection of deception. *International Journal of Psychophysiology*. (2001) 40, 239-245.
3. K. Fukuda, John A. Stern, Timothy B. Brown, & Michael B. Russo Cognition, Blinks, Eye-Movements, and Pupillary Movements During Performance of a Running Memory Task. *Aviation, Space, and Environmental Medicine* 76 (7), Section 2, C75-C85. (2005).
4. 福田恭介「ペアレントトレーニング実践ガイドブック-きつとうまくいく。子どもの発達支援」258頁（2011）あいり出版（京都）

3. 外部研究資金

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究C「眼球運動・瞬目反応を用いた発達障害児の心理過程アセスメント」研究代表者（課題番号26380893）¥1,100,000 2014～2016年度

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本生理心理学会（評議員），九州心理学会（理事），日本心理学会，Society of Psychophysiological Research (SPR)，日本行動療法学会，日本心理臨床学会，日本教育心理学会，International Organization of Psychophysiology (IOP)

6. 担当授業科目

<学部>

実験測定法Ⅰ・2単位・2年・前期，実験測定法Ⅱ・2単位・2年・後期，幼児教育心理学・2単位・2年・前期，教育心理学概論・2単位・2年・後期，知覚心理学・2単位・3年・前期，認知心理学・2単位・3年・後期，演習・2単位・3年後期・4年前期，卒業論文・6単位・4年・後期

<大学院>

臨床心理基礎実習・2単位・修士1年・通年，心理学研究法特論・2単位・修士1年・前期，認知心理学特論・2単位・修士1年・後期，臨床心理実習（学内）・1単位・修士2年・通年，臨床心理実習（施設）・1単位・修士2年・前期，特別研究・4単位・修士1・2年通年

7. 社会貢献活動

- ・ 田川市教育支援委員会委員長
- ・ 九州心理学会理事
- ・ 日本生理心理学会評議員
- ・ 九州心理学会優秀発表賞選考委員
- ・ 福岡県立大学心理臨床研究査読委員

8. 学外講義・講演

1. 特別支援教育スキルアッププログラム 5月29日～7月24日 5回 附属研究所
2. 中間高等学校学外授業「心理学入門」6月10日
3. 日本自動車研究所研究協力「無操作（自動）運転時のドライバー状態の変化と事故未然防止に関する研究」7月15日
4. 自由ヶ丘高等学校学外授業「心理学入門」7月23日
5. 教員免許状更新講習「ペアレントトレーニングの教育現場への応用」8月28日
6. 子ども発達療育相談PASTEL1周年記念講演「ペアレントトレーニングによる気になる子どもたちへの対応」筑紫野市生涯学習センター 9月6日
7. 第4回豊前市早期支援研修会「早期支援に生かすペアレントトレーニング」豊前市役所 10月30日
8. 田川市子育てボランティア講座「ペアレントトレーニングによる子育て支援」田川市子育て支援センター 11月6日
9. 平成27年度特別支援教育連携研修会「特別支援学校におけるペアレントトレーニングについて」佐賀県立大和特別支援学校 12月11日
10. 直方市スキルアップセミナー1月8日～2月26日 5回 直方市公民館
11. 田川市役所メンタルヘルス研修会「メンタルヘルスケア研修」3月8日～3月17日 3回 田川市民会館

9. 附属研究所の活動等

1. 附属研究所長
2. 「お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）」の企画と運営
3. 「教師・保育士のための特別支援教育スキルアッププログラム」の企画と運営
4. 「福岡県立大学山本作兵衛コレクション保存管理計画」ユネスコ提出資料の作成
5. Fukuoka Prefectural University Preservation and Management Plan for the Sakubei Yamamoto Collection submitted to UNESCO (2015) 英語版の作成
6. Joint International Symposium on “Regional Revitalization and Innovation for Social Contribution” and “e-ASIA Functional Materials and Biomass Utilization 2015”の開催